

## 地域情報化アドバイザー制度活用報告書(2日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

## 1. 申請団体情報

## 1-1. 申請団体

団体名	宇部市	代表者名	篠崎圭二
担当者部署	教育委員会	連絡先電話番号	0836-34-8609
担当者役職	副課長	担当者氏名	志馬 公二郎
住所	755-8601 山口県宇部市常盤町一丁目7番1号		

## 2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	松浦 龍基
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	教育系ネットワークの仕様書中の調達物品、本市教委セキュリティポリシーとクラウド上の個人情報の2次利用、情報リテラシー事業への質問に対し画面共有と限られた時間の中での説明だけで、全てを把握され、的確な助言を頂いた。
アドバイザーへの要望事項	今の所、なし

## 3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2021年10月19日	10時00分	11時00分		60
	派遣形態	支援・助言(オンライン)			

## 4. 報告書に関してのAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

## 5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】 宇部市教育委員会学校教育課職員	人数 4人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果	<p>事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教育ネットワーク再構築事業の仕様書について、特に調達物品のスペックについて、疑義が生じている。</li> <li>クラウド上の個人情報の2次利用が本市教委のセキュリティポリシーに抵触しないか、する場合手立ては</li> <li>情報リテラシー新規事業について、実施したいがどのように進めて良いかわからない。</li> </ul> <p>支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>公平性を保ちつつ、無駄なものの購入のない仕様書にしたい</li> <li>セキュリティ対策について、穴のない状態にしたい</li> <li>新規の情報リテラシー事業を実施することができる。</li> </ul> <p>アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>調達物品のスペックの是非について助言いただいた。</li> <li>非個人と断定できない場合は個人とみなし、それでも利用が必須の場合、同意書を取っていただいた方がよい。</li> <li>情報リテラシーは大人向けに偏らず、児童生徒向けに作成すること。SNSのいじめなどは、一人一台端末になったからではなく、いじめそのものが問題であることに留意すること。</li> </ul> <p>支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>仕様書が確定できる。</li> <li>個人情報の2次利用の是非及びその対策について、理解でき、実施ができる。</li> <li>情報リテラシー事業の仕様について、大人向けに偏らず児童・生徒向けに作成できる。また、どのようなモデルがあるか、選択することができる。</li> </ul> <p>具体的な成果物</p> <p>最も当てはまるものをリストより選択下さい。 ③事業に係るシステムの調達仕様書を策定できた</p>	

改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特になし。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 特段統計的なデータを必要としないため、アンケートは必要ないとする。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものリストより選択下さい	①予算は確保済みであり、年度内に推進する
事業の最終的な目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育系ネットワーク再構築が出来、現状の業務が維持もしくは、向上できる。</li> <li>・クラウド上の個人情報の2次利用について、ルールを定めることができる。</li> <li>・情報リテラシー事業について、実施できる。</li> </ul>	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

